

1 年学年だより

東和中学校第 1 学年
平成 29 年 12 月 19 日
No. 20

12月4日(月)～12月10日(日)は人権週間でした。人権というのは私たちが社会生活において幸せな生活をしていくためにどうしても必要な権利のことです。それを守るためには、まず自分を大切に、そして相手を思うことだと思います。感想の中に偏見や差別のないみんなが笑顔でいられる社会になってほしいとありました。どの人の心の中にもこのような思いがあってくれと信じています。

1年生では人権週間にあわせて道徳の時間に「ある日のバッテリーボックス」という資料を使って人権について考えました。また、金沢星稜大学から高賢一教授を招いて、「子供の人権について～楽しく安全な学校生活を送るために～」と題してご講演していただきました。あわせて感想文を紹介したいと思います。



「ある日のバッテリーボックス」

四十年教壇に立った元教師が思い出を語っています。ある年、受け持った小学校五年生のクラスに、Aという障害のある児童がいました。幼児期小児まひの後遺症により正常な歩行が困難なAに対して、配慮していたつもりでいた筆者。体育の時間にAが生氣なくつまらなそうにしているのはわかっていましたが、仕方のないことと納得していたのです。そんなある夏の午後、筆者が通りかかった空き地から子どもたちの歓声が聞こえてきました。ソフトボールに興じる少年たち。その中にAもいました。その時、筆者が思いがけない光景を目にします。なんと、Aがバッテリーボックスに立っているのです。しかも相手のピッチャーや守備側の子供たちも、手加減なしの真剣勝負です。驚きは、それだけではありません。Aが打った瞬間、彼の背後から代わりの走者が走り出したのです。子どもたちの中で自然に考案されたこのDH+代走のルールの新やかさに頭が下がるとともに、何よりAの生き生きと喜びにあふれた明るい素顔をみた感動が、忘れられない筆者のお話でした。



○障害者でもできることはたくさんあることが分かりました。私は今まで障害者はみんなと違って不公平でかわいそうと思っていたけど、みんなと同じところもあることが分かりました。これからは障害者にもっと目を向けて理解しようと思います。

○公平・公正な社会がテーマで、不公平だと思うことがたくさんあるけど、一人ひとりが考えすぎたり、気をつかったりしているけど、本人は、考えすぎたり決めつけられたりすることで、本来できることができなくなったりすることが分かりました。これからは一人ひとりのことを考えて公平な社会を作れたらいいと思います。

○公正・公平な社会にしていくには、相手に決めつけた配慮や無茶をせず相手の行動を見て、自分の考えを立てることが大切だと思った。「動く」「聞こえる」「見える」という私たちの中であたりまえの動きは決してあたりまえでなく、とても幸せなことなんだと思いました。

○私はパラリンピックがオリンピックのように大きく報じられるようになったらいいと思いました。なぜなら、オリンピックに出ている人のようにパラリンピックに出ている人も同じように練習して数々の大会で勝ち抜いてきたのだから、同じように大きく報じられてもいいと思いました。

○今回の道徳の授業を通して、私は障害を持っている子供でも手加減をしたり、特別あつかいをされたりするのは嫌な子もいるんだなと思いました。なぜなら、A君はみんなと同じボールの速さを投げられているのに、いきいきとしていたのは、特別あつかいなどがなくて、A君はうれしかったからだと思います。私はこれから障害を持っている子供でも、みんなと一緒に接し方をしようと思います。

<人権講話から学んだこと・考えたこと>

他の県では友達をなぐったり、ガムテープで体を巻いたりなどのいじめがあつて驚いた。いじめている人と、遠くから見ている人は同じということがこの話を聞いてわかった。僕はこの話を聞くまではいじめていなければ何も悪くないと思っていたけど、この話を聞いて、もしいじめられている人がいたら、ただ見ているだけじゃなくて、止めにいったり、先生などに言ったり、相談にのってあげることが大事なんだとわかった。

いじめをすると加害者も被害者もいい思いはしていないことだと学んだ。いじめを止めることはすごく大変だと思うし、いじめをしている人が一人でもいるとクラスの空気が悪くなりよくないのではない。いじめを見たらボケーっと見ているのではなく、いじめられている人を支えていける人になりたいと思いました。

私は今日の話聞いて、いじめは周りの人の少しの勇気でおさまることが分かりました。いじめを受けている人は言えなくても見ている人が誰かに相談したり受けている人を少しでも助けてあげたりすれば受けている人は少しでも楽になり、いじめもおさまります。周りの人のささいなことでも人を助けたりできるのなら、私は勇気を出したいです。でも勇気を出すのは難しいことだと思います。なので、勇気を出せた人はすごいなと思いました。これから私もがんばろうと思いました。

いじめはささいなことだからだんだんエスカレートしていくことや、LINEなどのSNSからのいじめもあることを知り、自分もこの先あるのではないかとと思うととても怖くなりました。もし、これから先、いじめに立ち会うことがあれば傍観者ではなくその人にとって支えられるような人になりたいなと思いました。これらの人権について話を聞き、今まで以上にクラスの子、友達を大切にしていきたいと改めて思いました。より深く考えることができたので、高先生にとっても感謝したいです。

僕も友達と遊んでいるときに、いやがらせをされたり、したりするときがあるので、気をつけていこうと思いました。もし人がいじめられたりしたら、しっかり注意していこうと思いました。でも、そしたら自分がいじめられるかもしれないので、もしそのときは他の人に相談してみようと思います。

私はかるい気持ちで言った(やった)ことでも、相手はすごく傷ついたりしているから気をつけなければいけないと思いました。私はいじめの話で遊びのつもりでやったのに、やられた人はとっても傷ついて自殺してしまうのはちょっと怖いと思いました。私はいじめは絶対してはいけないと思うけれど、嫌な気持ちになる言葉を言っているときもあると思ったので、今度から気をつけなければと思いました。

